

町民インタビュー

絵画同好会代表

さ たけ か ず よ し
佐竹 一良 さん

〔牧地区〕

葉脈一本一本まで細かく描く植物図鑑的な特殊な絵。根気のいる作品作りに懸命な佐竹さんにお話を聞きました。(7月6日)



聞き手／岩田 譲治
小川 文雄
西松 幸子



「水彩画を始めてから年賀状は毎年自筆の絵にしています。」と楽しみにインタビューにに応じていただきました。

—— 絵を始められたきっかけは。

佐竹さん 町の生涯学習の案内を見て、平成22年から始めました。

—— 現在の会の活動は。

佐竹さん 月に2回、2時間程度、先生に来てもらい、5人の会員が水彩画、特に植物の写実画や風景画を中心に勉強しています。時には先生とスケッチ小旅行をしたり、食事をしたり楽しく活動しています。

—— 上達のポイントは。

佐竹さん まず基本であるスケッチが大切です。次に

色付け、これも経験が必要で、絵の具の混合の仕方でも作品の出来栄が大きく左右されます。とにかくたくさん、絵を書くことで上達します。小さいもので1枚書くのに2時間程、大きいもので5〜6時間かかります。

—— 男性会員と女性会員の作風に違いはありますか。

佐竹さん 女性会員の作品はとても繊細で、丁寧な画

風が多く、先生とよく似た絵に仕上がりが、先生の展示会にも出展されています。

—— 会を運営する中で苦労話などは。

佐竹さん 以前は10人程の会員数でしたが、今は5人(男性3人、女性2人)になってしまいました。それも高齢化。若い人の入会が望まれます。



丁寧に長時間かけて仕上げた佐竹さんの作品



先生と一緒に活動する佐竹さん(中央)

—— 今後の会の活動は。
佐竹さん 人と人とのつながりを大切にし、楽しくなる会にしたいです。それにはもう少し会員が増えるといいです。会員募集中です。



表紙の題字「あんばち」は
ふるた あかり
登龍中2年 **古田 朱里** さん
の作品です

議会だより視察を受け入れ

5月17日(木)、石川県能登町議会の広報特別編集委員の皆さんが安八町を訪れ、議会だよりの編集方法を視察されました。



編集技術談だけでなく議会談にも及んだ幅広い交流でした

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

7月10日に議会だより編集の研修会があり編集委員会のメンバーと受講してきました。対象地区は東海から西地区で4会場合わせて200人程の議員等が集い、盛況でした。年ごとにその度合いは高まっているように感じました。その裏側には町民の皆さんと議会との間に広がりつつある「溝」を埋めるためのツールとしてこの議会だよりがあるように感じます。今一層の努力と皆さんからのご意見をいただき、コミュニケーションの感じられる議会だよりにしたいと考えています。(岩田 譲治)

議会の傍聴にお越しく下さい。次回の議会定例会は、9月です。日程は、安八町広報紙、広報無線でお知らせします。

紙面の都合上、全議論を掲載できませんので、抜粋しています。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

TEL **0584-64-4931**

FAX **0584-64-5011**

E-mailでも受け付けています。
gikai@town.anpachi.gifu.jp